



## Glomal350 取扱マニュアル 2.0 (ハードウェア)

### 目 次

1. 梱包内容	2
2. 各部の名称	3
3. 組 立	4
4. 使用の準備	5
5. 投影位置の調整	6
6. プロジェクターの設定	13
7. 日常のお手入れ	13
8. ボールスクリーンの凹みの直し方	13
9. トラブルシューティング	14
10. 仕 様	15

## 1. 梱包内容

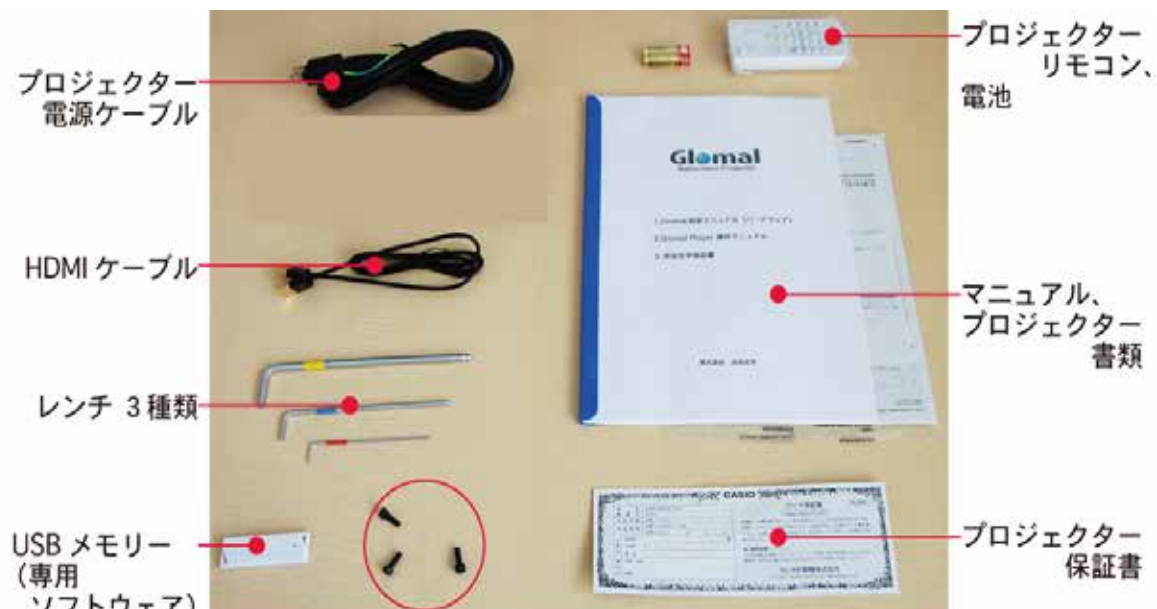


ボールスクリーン

スタンド

ボールスクリーンとスタンドは別々に梱包されています。スタンド上部のレンズカバーを必ず外してください。また、ボールスクリーンの中に微細な異物やホコリが残らないように注意してください。

その他の同梱品は下のようになります。



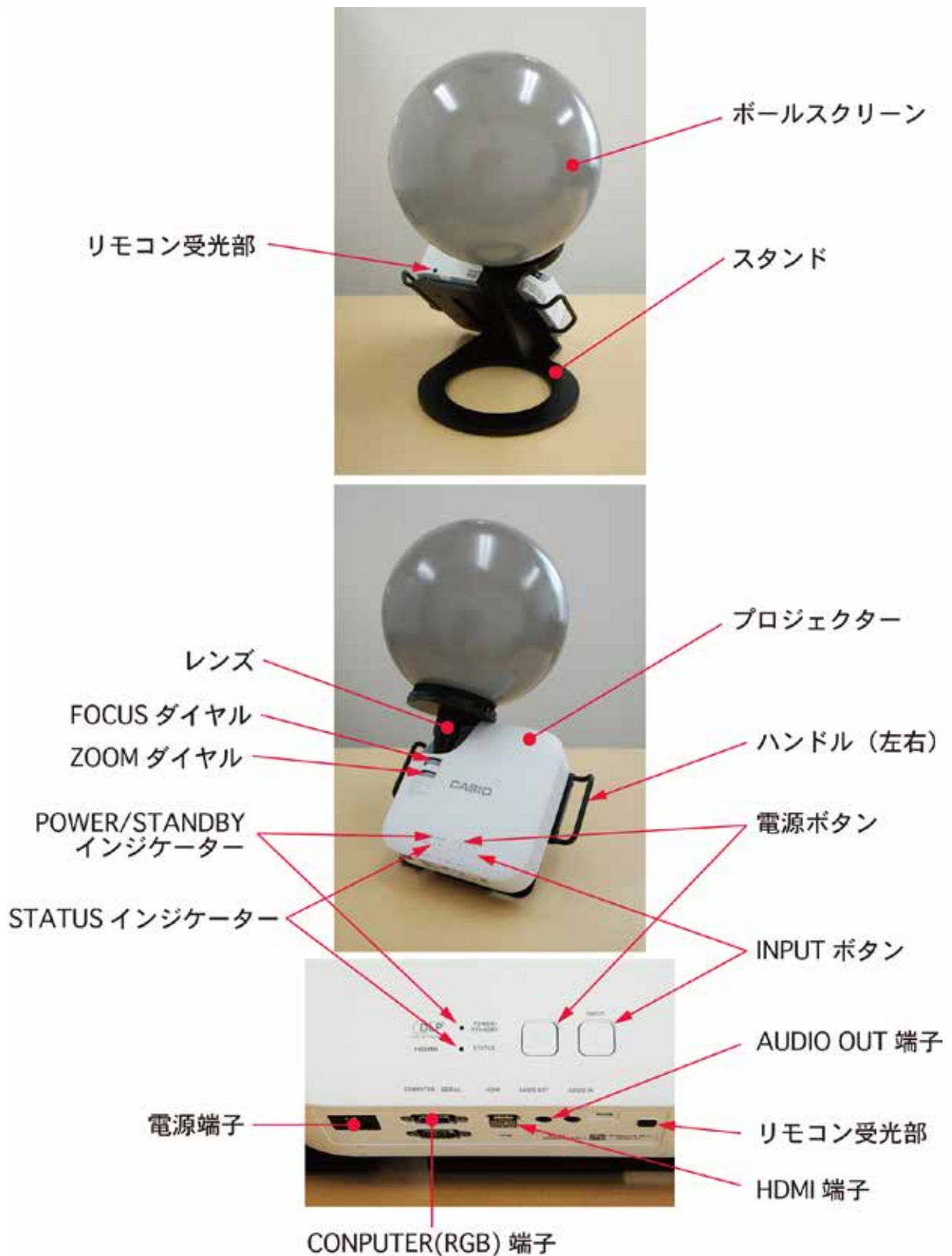
ボールスクリーン取付用キャップボルト 3個

※ USBメモリーの形状と色が異なる場合がございますが、機能は全く同じです。

※ プロジェクターのユーザーガイドは次の URL よりダウンロードしてください。

<https://casio.jp/projector/products/v1/spec/>

## 2. 各部の名称



※プロジェクトにつきましては **Glomal** 操作上必要な部分のみ記載してあります。

### 3. 組立

- ① スタンドの上部リング部にボールスクリーンのリングを合わせるように置き、双方のリングの側面にある3箇所のグレーのマークの位置を合わせます。



- ② まず **B** の位置に下方よりキャップボルトを挿入し、付属の青のレンチを使って締めてください。この時、ボールスクリーンを落としてしまわないよう、しっかりと手で支えながら行ってください。  
続けて **A**、**C** の位置もキャップボルトで締めてください。



#### 4. 使用の準備



標準的な Glomal と PC との接続状態

- ① Glomal に電源ケーブルと PC に繋いだ HDMI ケーブルを接続します。



- ② PC を起動後、Glomal の電源ボタンを入れてください。PC のディスプレイの設定は"複製 (推奨)"にします。PC の画面の一部がボールスクリーンに映ります。映らない場合は、プロジェクターのINPUTボタンで入力を"HDMI"に設定してください。



※ PC と Glomal の接続は RGB ケーブルでも接続できますが、ここでは HDMI ケーブルを推奨いたします。

- ③ プロジェクターの**ZOOM**ダイヤルを左へ回し切り、次に **FOCUS** ダイヤルを回して、ボールスクリーン上のピントを調整します。



- ④ 専用ソフトウェア**Glomal Player**の入った**USB**メモリーを **PC** へ刺します。**USB**メモリーを刺した状態で **GlomalPlayer** を使用します。

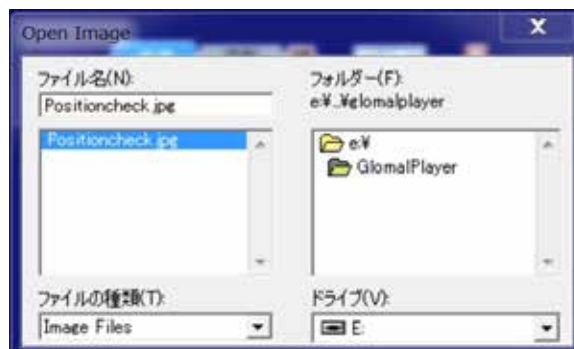


これでハードウェアの準備が整いました！ここからは **Glomal Player** の操作マニュアルを見ながら、ボールスクリーンプロジェクター **Glomal** の世界をお楽しみください！

## 5. 投影位置の調整

**Glomal**は出荷時に投影位置の基本的な調整を行って出荷しておりますが、お使いになられて投影の位置がおかしいのではないかとと思われる際は、投影位置の調整を行ってください。

- ① **Glomal Player** の " 画像ファイルを開く " で **USB**メモリー内の " **Positioncheck.jpg** " を選択します。



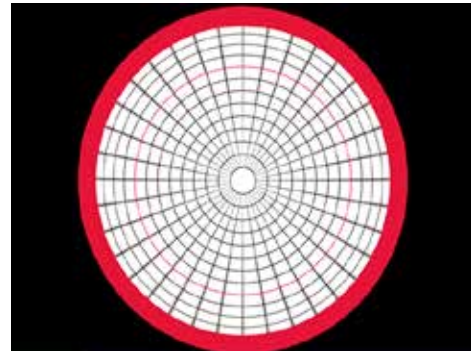
- ② **Glomal Player** の"傾き"で、水平軸 (X 軸) の数値ボックスに 22.4 を入力し、**PC** のリターンキーを押してください。



- ③ **Glomal Player** の "✖" を選択し、次に "投影" を押して画像を表示させると、**Glomal** と **PC** では次のように表示されます。



Glomal の表示 (正常)



PC の表示

**Glomal** の表示が以下の様な場合は、まず④～⑦を確認してください。



- ④ PC のグラフィックコントローラーの設定確認 → Glomal に接続している PC のシステム設定で、"スタート" → "設定" → "システム" → "ディスプレイ" に進み、プロジェクターのディスプレイを選択します。



複製表示の場合



拡張表示の場合

ディスプレイの解像度が 1024x768 であることを確認し、その下方の "ディスプレイの詳細設定" をクリックします。



CASIO-PJ の解像度が 1024x768 であることが確認できたら、このステップは終了します。1280x800 等異なる数字の場合は、その下方の " ~のプロパティを表示します " をクリックします。



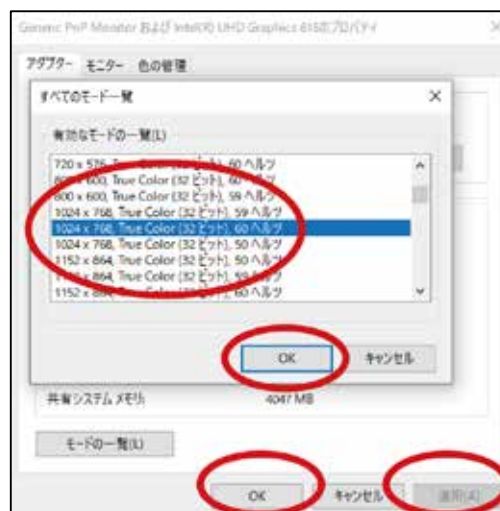
グラフィックコントローラーのダイアログ表示されますので、下方の



"モードの一覧" をクリックしてください。



有効なモードの一覧が表示されますので、1024x768 の正しいモードを選択しなおし、"OK" をクリックします。モードの一覧が消えたら、"適用 (A)" → "OK" をクリックしダイアログを閉じます。



- ⑤ プロジェクターの台形補正の設定確認 → リモコンの "KEYSTONE" の "+" "-" ボタンを押し、ボールスクリーンの前面下方右に表示される数字が 0 になっているか確認してください。0 以外の場合は "+" "-" ボタンで 0 にしてください。



- ⑥ プロジェクターのデジタルズームの設定確認→リモコンの "D-ZOOM" の "-" ボタンを押すとボールスクリーンの表示が変化します。変化しなくなるまで "-" ボタンを繰り返し押ししてください。



- ⑦ プロジェクターのアスペクト比の設定確認→リモコンの "MENU" ボタンを押すとボールスクリーンにプロジェクターの設定メニューが表示されますので、"画面設定" → "アスペクト比" に進み、"◀""▶" ボタンで "標準" を選択します。"ESC" ボタンを押すと設定メニューは消えます。もしくは、リモコンの "ASPECT" ボタンを押すとボールスクリーンの表示が変化します。4回で表示の変化が一巡しますので、表示が正常または正常に近いものにします。



- ⑧ この時点でボールスクリーンの表示は正常か、下部の赤い部分が根本の中心から少しずれた状態になっているはずですが。ずれていたら、以下の調整作業に進んでください。



正常

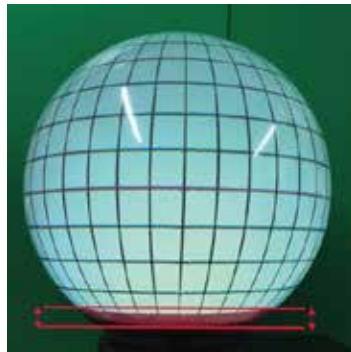


下部がずれている

まず、左右方向の調整をします。プロジェクターの台座の裏の **A**、**B**、**C** のキャップボルトを付属の青のレンチで緩めます。



- ⑨ **Glomal** の表示の球体下部の前後方向から見た赤い帯の両側の幅が均一になるように、プロジェクター本体をレンズの根元を中心に左右に回転させるように動かしながら調整します。

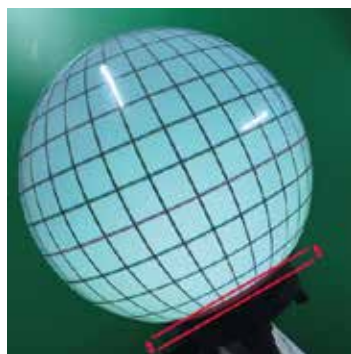


左右方向の調整基準

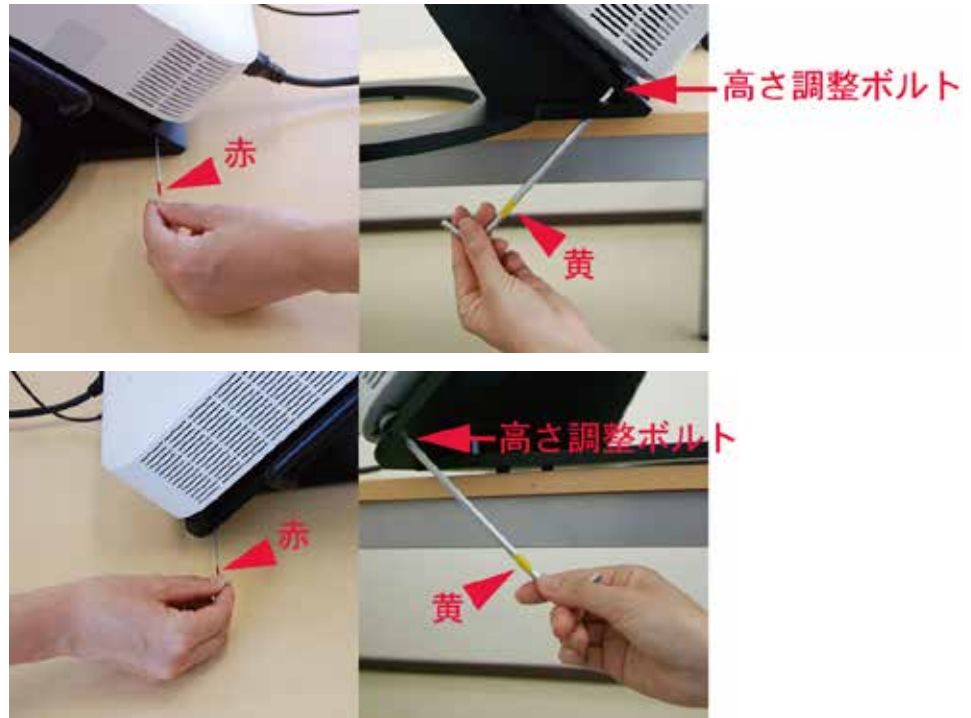


左右方向の調整方法

- ⑩ 次に前後方向の調整をします。**Glomal** の表示の球体下部の横方向から見た赤い帯の前後の幅が均一になるように、プロジェクター台座下部にある左右の高さ調整ボルトの固定ボルトを付属の赤のレンチで緩めた後、高さ調整ボルトを付属の黄のレンチで調整してください。



前後方向の調整基準



前後方向の調整

この調整を行う際には、プロジェクターの後ろ右側の足が固定位置からずれてしまわないように確認しながら行ってください。



- ⑪ 微調整は **PC** のカーソルキー▲、▼を使って行ってください。左右、前後の位置調整を相互の様子を見ながら交互に行います。最終的にプロジェクターの位置調整が決まりましたら、最後に③で緩めた **A**、**B**、**C** のキャップボルトを締めて固定してください。この時、**C** のキャップボルトは締め付けず、抜け落ちない程度にしてください。

投影位置の調整が完了しましたら、一番最初に設定した **Glomal Player** の "傾き" の値を 22.4 から 0 にもどします。

## 6. プロジェクターの設定

Glomalの使用に必要な以下のプロジェクターの設定は出荷時に設定済です。

①画面設定→投影方法→リア

②機器設定1→言語→日本語

万が一設定が変わってしまった場合は、プロジェクターのリモコンを使って設定メニューから再設定してください。

※プロジェクターのユーザーガイドは次の URL よりダウンロードしてください。

<https://casio.jp/projector/products/v1/spec/>

## 7. 日常のお手入れ

①本体—柔らかな布で拭いてください。強い汚れを除く場合には、薄めた中性洗剤をご使用ください。

②レンズ—市販の眼鏡ふきクロスなどをお使いください。

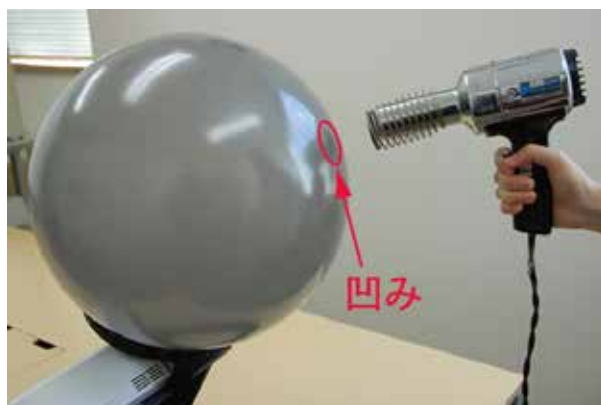
③プロジェクターの吸排気口—吸排気口にはゴミやほこりがたまりやすいため、電気掃除機等でいねいに吸い取ってください。(吸気口や排気口にゴミやほこりがたまったままご使用になりますと、プロジェクター内の温度上昇により故障の原因になります)

④ボールスクリーン—柔らかな布で拭いてください。強い汚れを除くには、薄めた中性洗剤をご使用ください。ベンジン、アルコール、シンナー等は絶対にご使用しないでください。

※お手入れの際は、事前に必ずコンセント電源プラグを抜いて下さい。

## 8. ボールスクリーンの凹みの直し方

ボールスクリーンに凹みがある場合、凹みの部分をドライヤーでゆっくり加熱してください。凹みが戻ってくるのを確認しながら、加熱しすぎないように十分時間をかけて行ってください。



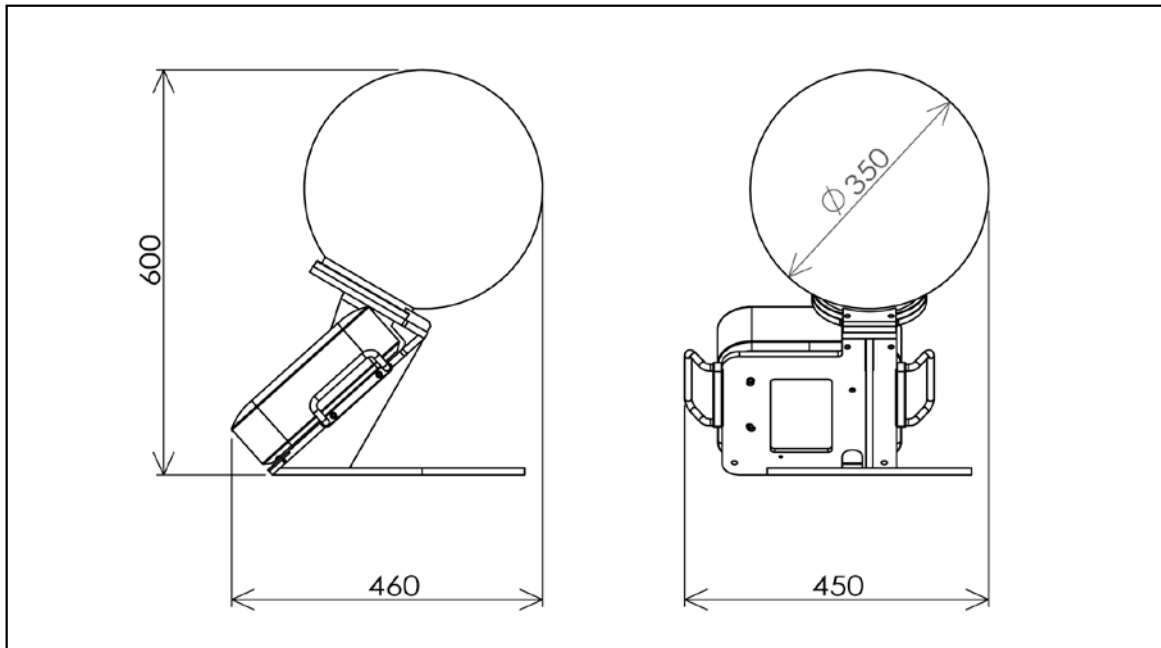
## 9. トラブルシューティング

現象	ご確認していただくこと	ご対処していただくこと	ご参照先
プロジェクターが起動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・POWER/STANDBYインジケータが点灯していない。</li> <li>・STATUSインジケータが点灯(点滅)していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コンセントを正しく接続してください。</li> <li>・プロジェクターの電源接続プラグの緩みがないかご確認ください。</li> </ul>	本マニュアルP.5 プロジェクターユーザーガイドP.22
プロジェクターの起動後、ボールスクリーンに映像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・POWER/STANDBYインジケータが赤色で点灯している。</li> <li>・STATUSインジケータが赤色またはオレンジ色で点灯(点滅)している。</li> </ul>	本機と接続しているPCの電源が入っており、正常に動作しているかご確認ください。	プロジェクターユーザーガイドP.22
	正しい入力ソースが選択されていますか？	本機に接続している機器に合わせて入力ソースを正しくご選択ください。	プロジェクターユーザーガイドP.8
	ビデオ機器のコンポーネント出力端子と本機のCOMPUTER端子を接続している場合。	この場合、ビデオ機器によっては、映像が正しく投映されない場合があります。	プロジェクターユーザーガイドP.26
映像や文字がぼやける。	焦点が合っていないことが考えられます。	焦点を合わせてください。	本マニュアルP.6
リモコンで操作できない。	リモコンの電池が消耗していることが考えられます。	電池を交換してください。	プロジェクターユーザーガイドP.7
	リモコンの操作可能範囲外で操作していることが考えられます。	プロジェクターから約5m以内の範囲でリモコンを操作してください。	プロジェクターユーザーガイドP.25
POWER/STANDBYインジケータあるいはSTATUSインジケータの点灯(点滅)や色。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・POWER/STANDBYが赤色で点灯。</li> <li>・STATUSが赤色またはオレンジ色で点灯(点滅)。</li> </ul>	何らかのエラーが発生しています。	プロジェクターユーザーガイドP.22
光源ユニットが点灯しなくなった。	光源ユニットの寿命または故障と考えられます。	お問合せ窓口にお問合せください。	プロジェクターユーザーガイドP.25
突然電源がオフになり、再起動した。	プロジェクターがセルフチェックを行った結果として、まれに自動的に再起動することがあります。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	プロジェクターユーザーガイドP.25
	再起動が何度も連続して発生する場合があります。	再起動が連続発生する場合は故障と考えられます。お問合せ窓口にお問合せください。	プロジェクターユーザーガイドP.25

※プロジェクターのユーザーガイドは次の URL よりダウンロードしてください。

<https://casio.jp/projector/products/v1/spec/>

## 10. 仕様



投影方式		1 chip DLP方式
表示素子	素子サイズ	XGA0.55型 (アスペクト比4:3)
	画素数	786,432画素(1024×768)
光源		レーザーおよびLED
色再現性		フルカラー (約10億7千万色)
明るさ		2700lm
コントラスト比 (全白/全黒)		20000 : 1
表示解像度	RGB信号	リアル表示 : 1024×768 圧縮表示 : 最大1600×1200(LXGA)
	コンポーネント信号	圧縮表示 : 最大1920×1080(HDTV 1080P)/D5相当
	HDMI信号	圧縮表示 : 最大1920×1080(HDTV 1080P)
RGB入力		COMPUTER端子 : ミニD-sub 15pin x1
コンポーネント(YCbCr/YPbPr)入力		COMPUTER端子兼用
デジタル入力		HDMI端子 : HDMI type A x1 HDCP対応、音声信号対応
音声	入力/出力	ステレオミニジャック 各1
その他端子	USBデバイス	Micro-USB type B x1 : ファームウェア更新用
	制御端子	RS-232C(D-sub 9in) x1
電源		AC100V, 50/60Hz
外形寸法		幅450 x 奥行460 x 高さ600mm
質量		約7kg